

(様式)

事例タイトル 「ふるさと汁」にチャレンジ！	実施主体（共催） 木津川市食生活改善推進員協議会 木津川市立相楽台小学校
目的	
① 地域の食文化の伝承と地産地消の普及及び理解を深める ② 児童生徒期の健康な身体づくりに必要な栄養素と食品の理解を図る	
対象者、場所	木津川市立相楽台小学校 3年生 43名 木津川市食生活改善推進員 17名 同校家庭科室
実施時期	平成26年11月25日（火） 午前10：50～午後12：20
活動内容	<ul style="list-style-type: none">・ 食生活改善推進員が相楽台小学校へゲストティーチャーとして出張し、3年生の総合的な学習時間に「ふるさと汁」の調理実習を行った。・ 食材である大根は3年生が学級園で育てたものを、にんじん、玉ねぎ、じゃがいも、青ねぎは学校園や地元で栽培されたものを使い、味噌は食生活改善推進員手作りの減塩味噌を使用した。・ 包丁を使う作業は推進員が行い、児童は野菜の皮をピーラーで剥く、煮る際に具材を鍋に入れる、みそを鍋に溶き入れる、お椀によそう、使った食器の後片付け等を行った。・ 試食後は、調理手順の確認を兼ねたクイズをしたり、わかりやすく減塩の話をしたりすることで、児童も楽しく学んでいた。 <div data-bbox="225 1140 515 1357"></div> <div data-bbox="719 1140 1013 1357"></div> <div data-bbox="1211 1140 1498 1357"></div>
成果	<ul style="list-style-type: none">・ 試食の際には、天然だしでとっただし汁や手作りの味噌の味に「美味しい！」という声がたくさんあり、とても楽しく皆で完食できた。・ 推進員と一緒に調理に参加したことや、自分たちで育てた野菜を使うことで、食に対する関心や興味が高まった様子だった。また、減塩の話もこの時期から聞くことで、望ましい生活習慣を子どものうちから身に付ける大切な機会となった。
課題及び今後の展望	今回は、食生活改善推進員協議会の取組と食育モデル校として積極的に取り組む相楽台小学校、双方のニーズが一致して行われることとなった。今後も双方が連携し、食育の推進に取り組みたい。

(記入者 職・氏名) 健康推進課 山中留美

(連絡先) TEL 0774-75-1219 FAX 0774-75-2083 E-mail kenko@city.kizugawa.lg.jp